



# 奈良の丘だより

横浜市立奈良の丘小学校

学校教育目標

2月号

笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘

- 自ら考え、進んで行動する子を育てます
- 互いに認め合い、高め合う子を育てます
- たくましく、共に生きる子を育てます

<http://www-local.edu.city.yokohama.jp/sch/es/naranooka/>

## 「たくさんの笑顔で」

校長 岩崎 健治

寒さ厳しい日もありますが、三寒四温の日々で、春も間近に感じられるようになってきました。日頃より本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、ありがとうございます。これまで、保護者の皆様、地域の皆様のご理解ご協力により、子どもたちの安全と安心、健康第一で一つの教育活動ができることに心より感謝申し上げます。

1月30日の朝会では、子どもたちに次のような話をしました。（一部抜粋）

「2月3日は節分です。節分という言葉には、『季節を分ける』という意味があるそうです。『季節を分ける日』とは、季節の変わり目である、立春・立夏・立秋・立冬の『前日』のことになります。中でも立春は昔（旧暦）では、新年のはじまりであったことから、重要視され、特に大切にされてきました。そのため、春が始まる前の日、つまり冬と春を分ける日だけを節分と呼ぶようになったそうです。

また、節分は、『みんなが健康で幸せに過ごせますように』という意味をこめて、悪いものを追い出し、『鬼は外、福は内』と言いながら豆をまきます。場所によっては『福は内』『福は内』とだけ言うところもあるようです。2月、3月は、それぞれの学年がまとめに入る時期です。一日一日を大切に、みなさんが健康で幸せに過ごし、笑顔いっぱいになってほしいと思っています。これからも、笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘で、元気に過ごしていきましょう。みなさんにたくさんの福がくることを願っています。」



《氷が張っているピオトープ》

「笑う門には福来る」と言うことわざがあります。いつも笑いが絶えない家には自然と幸福がやってくる、いつも明るく朗らかであればおのずと幸せがやってくるという意味です。

また、悲しいことや苦しいことがあっても、希望を失わず朗らかに生きていれば幸せが訪れるという意味もあるようです。縁起が良いためお正月にもよく使われ、座右の銘としても人気です。

2月は、各学年が学習活動のまとめに向かう時期にもなります。日々の学習活動を大切に、子どもたち一人ひとりがたくさんの笑顔で充実した日々を送ってほしいと思っています。

今後も、安全と安心、健康を第一にしながら、子どもたちの確かな成長を引き続き支援して参ります。どうぞよろしく願いいたします。

～誰一人取り残さない学びの実現に向けて～

「横浜どこでもスタディ」を進めています。

横浜市では、コロナ不安やその他、様々な理由や事情で学校に登校できない児童生徒が自宅等で授業に参加できるように、子ども自身が必要に応じて学ぶ方法を選べる取組を各学校で行っています。本校でも、次の3つの取組を進めています。

**【取組1】授業配信の形式**

教室で行っている授業を Google Meet で配信します。子どもと学校が調整して、より効果的な場面や時間を選んで実施します。

**【取組2】授業で使った資料をアップ**

授業で使った資料を自宅で見たり、学習プリントを提出したりできます。質問などもロイロノート・スクールで送ることもできます。

**【取組3】学習支援教材の活用**

PCやタブレット端末を活用して、各自の学習進度にあわせて学習をすることができます。

※「横浜どこでもスタディ」の活用を検討されたい場合、担任を通して学校まで御相談ください。